

東京消防庁総合震災消防訓練への参加について

東京消防庁から都内で最大震度7の地震が発生したとの想定で実施する、24時間規模の訓練において、大田区との連携強化のため本訓練に参加等の依頼があったことから、協力するとともに区の情報収集体制の向上を図る。

1 日時

令和5年11月25日（土）8時30分から同月26日（日）8時10分まで

2 実施場所

本庁舎5階情報処理室及び東京消防庁第2消防方面訓練場

3 東京消防庁の訓練概要（区と連携が必要となる内容を抜粋）

（1）図上訓練

ア 管内特性および各種システムを活用した情報収集要領

イ 区市町村との連携を想定した災害対策調整担当課長の対応要領

（2）実動訓練

消防団、災害時支援ボランティア等との連携要領

（3）長期化対応

ア 長時間活動及び長期間対応を見据えた後方支援体制の構築要領
（交替人員、食料、燃料、資器材、仮眠場所、休息時期）

イ 庁舎のライフライン（電気、ガス、水道、自家給）途絶時の対応要領

ウ 震災時における協定締結団体との対応要領

エ 長期化に伴う各種物資（食料、燃料、資器材）の調整及び調達要領

4 区の参加目的

（1）都より貸与されているD I S端末による情報収集要領の会得

（2）停電時に真に必要な区施設の精査及び活用方法の検証

（3）長時間対応を見据えた人員交替体制、休憩要領の検証

（4）現地災害対策本部と本庁舎災害対策本部との情報交換要領の会得

5 協力内容

（1）災害対策調整担当課長及び区内各消防署区役所派遣員の大田区役所における情報収集等訓練

（2）情報処理室の使用許可

（3）大田区総務部防災危機管理課職員の参加

（4）夜間における危険物災害対応訓練での連携

6 参加人員

防災危機管理課管理職3名、防災危機管理課員7名、計10名